

中島跡

12世紀に造られた無量光院庭園に3つある島の中で、もっとも大きな島が中島です。ここには、京都の平等院鳳凰堂を模したとされる、阿弥陀堂が建っており、北小島に渡る橋によって岸につながっていました。

記録によると、無量光院の阿弥陀堂は、細部まで鳳凰堂と類似していましたが、中島の発掘により、鳳凰堂には存在しなかったタイルの一種が地面に敷かれていました。